



十月 (大)

かみなづき
神無月

室宿

十月八日寒露の節より
月命甲戌六白金星の月
暗剣殺西北方

旧 八月大
九月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	火	つちのえいぬ	五黄	労働衛生週間、法の日、共同募金、都民の日、北海道一般鳥獣狩猟解禁 旧八月大	廿九	赤口	のぞく	室	母倉	5.36 17.25	5.37 17.23	3.56 16.45	3.58 16.32
2日	水	つちのとろ	四緑	京都北野天満宮瑞饋祭(1日~5日)、亥の子餅	卅	先勝	みつ	壁	ぢう日	5.37 17.23	5.37 17.23	4.32 16.32	4.32 16.32
3日	木	かえね	三碧	●朔三時四九分、不成就日 旧九月小	朔	先負	たいら	奎	月とく	5.37 17.22	5.37 17.22	4.32 16.32	4.32 16.32
4日	金	かのとろ	二黒	里親デー	二	佛滅	さだん	婁	母倉	5.38 17.21	5.38 17.21	4.32 16.32	4.32 16.32
5日	土	みづのえとら	一白	福島二本松提灯祭、達磨忌、三隣亡	三	大安	とる	胃	大みぞ	5.39 17.19	5.39 17.19	4.32 16.32	4.32 16.32
6日	日	みづのとろ	九紫	一粒万倍日	四	赤口	やぶる	昂		5.40 17.18	5.40 17.18	4.32 16.32	4.32 16.32
7日	月	きえたと	八白	長崎くんち(9日迄)	五	先勝	あやぶ	畢	大みぞ	5.41 17.16	5.41 17.16	4.32 16.32	4.32 16.32
8日	火	きのと	七赤	寒露四時〇〇分、阿寒まりも祭	六	友引	あやぶ	觜	神よし	5.42 17.15	5.42 17.15	4.32 16.32	4.32 16.32
9日	水	ひのえうま	六白	国際文通週間、世界郵便デー、一粒万倍日、久留米高良大社例祭、三隣亡	七	先負	なる	参	神よし	5.42 17.14	5.42 17.14	4.32 16.32	4.32 16.32
10日	木	ひのとつじ	五黄	川崎身代り不動尊認知症除・習慣病除	八	佛滅	おさん	井	神よし	5.43 17.12	5.43 17.12	4.32 16.32	4.32 16.32
11日	金	つちのえとる	四緑	●上弦三時五五分、旧重陽、神戸海神社祭、東京池上本門寺御会式、天しや、不成就日	九	大安	ひらく	鬼	よろづ	5.44 17.11	5.44 17.11	4.32 16.32	4.32 16.32
12日	土	つちのとろ	三碧	横浜総持寺御征忌会、芭蕉忌、一粒万倍日	十	赤口	とる	柳	神よし	5.45 17.10	5.45 17.10	4.32 16.32	4.32 16.32
13日	日	かえいぬ	二黒	大津祭、和歌山竈山神社祭、日蓮聖人忌、嵐雪忌	十一	先勝	たつ	星	大みぞ	5.46 17.08	5.46 17.08	4.32 16.32	4.32 16.32
14日	月	かのと	一白	●スポーツの日、鉄道の日	十二	友引	のぞく	張	百事吉	5.47 17.07	5.47 17.07	4.32 16.32	4.32 16.32

この月の天候は、大陸方面の高気圧が、いつどれほどに発達するかにかかっている。例年よりも早ければ秋の長雨が早く明け、秋らしい晴天の日が多くなる。また、発達が遅い年は十月になってもまだ台風の影響があり、ぐずついた天候が続くようである。また、「女心と秋の空」といわれるように、澄み切った青空が急変することが多いのである。晴れた日は、日中の温度がかなり上昇し、夜冷え込むことが多く、気温の変化には十分注意したい。

【婚】十月の別称を「神無月」(旧暦十月)というが、これは、全国の氏神様がこの月に雲に集まるので、氏神不在の月という伝説によるものである。出雲の神様は、縁結びの神で、全国の神がそこで集まるのは、話し合いの中に男女の縁を取り決めることも含まれているためといわれている。

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
15日	火	みづのえね	九紫	十三夜、新宮熊野速玉大社祭、八せん始め、天理石上神宮例祭、姫路喧嘩祭	十三	先負	みつ	翼	天おん	5.47 17.06	5.47 17.06	4.32 16.32	4.32 16.32
16日	水	みづのとろ	八白	愛媛新居浜太鼓祭	十四	佛滅	たいら	軫	十し	5.48 17.04	5.48 17.04	4.32 16.32	4.32 16.32
17日	木	きえとら	七赤	●望二〇時二六分、貯蓄の日、伊勢神宮神嘗祭、日光東照宮秋祭	十五	大安	さだん	角	●	5.49 17.03	5.49 17.03	4.32 16.32	4.32 16.32
18日	金	きのと	六白	統計の日、東京靖国神社秋祭、東京浅草観音菊供養	十六	赤口	とる	亢	神よし	5.50 17.02	5.50 17.02	4.32 16.32	4.32 16.32
19日	土	ひのえと	五黄	京都建勲神社船岡祭、東京日本橋べつたら市、釜石曳舟祭、不成就日	十七	先勝	やぶる	氏	大みぞ	5.51 17.01	5.51 17.01	4.32 16.32	4.32 16.32
20日	日	ひのと	四緑	土用六時五十分、伊賀上野天神祭	十八	友引	あやぶ	房	母倉	5.52 16.59	5.52 16.59	4.32 16.32	4.32 16.32
21日	月	つちのえうま	三碧	宇都宮二荒山神社例祭、三隣亡、一粒万倍日	十九	先負	なる	心	神よし	5.53 16.58	5.53 16.58	4.32 16.32	4.32 16.32
22日	火	つちのとろ	二黒	京都平安神宮時代祭、京都鞍馬の火まつり	廿	佛滅	おさん	尾	神よし	5.54 16.57	5.54 16.57	4.32 16.32	4.32 16.32
23日	水	かえとる	一白	霜降七時一五分、電信電話記念日、庚申	廿一	大安	ひらく	箕	大みぞ	5.54 16.56	5.54 16.56	4.32 16.32	4.32 16.32
24日	木	かのと	九紫	●下弦一七時〇三分、一粒万倍日、国連の日	廿二	赤口	とる	斗	神よし	5.55 16.55	5.55 16.55	4.32 16.32	4.32 16.32
25日	金	みづのえいぬ	八白		廿三	先勝	たつ	牛	母倉	5.56 16.53	5.56 16.53	4.32 16.32	4.32 16.32
26日	土	みづのと	七赤	原子力の日、宮崎神宮例祭、八せん終り、天理教本部秋季大祭	廿四	友引	のぞく	女	ぢう日	5.57 16.52	5.57 16.52	4.32 16.32	4.32 16.32
27日	日	きえと	六白	読書週間(11月9日迄)、甲子、不成就日	廿五	先負	みつ	虚	天おん	5.58 16.51	5.58 16.51	4.32 16.32	4.32 16.32
28日	月	きのと	五黄	速記記念日	廿六	佛滅	たいら	危	十し	5.59 16.50	5.59 16.50	4.32 16.32	4.32 16.32
29日	火	ひのえとら	四緑	福岡香椎宮秋季例祭	廿七	大安	さだん	室	●	6.00 16.49	6.00 16.49	4.32 16.32	4.32 16.32
30日	水	ひのと	三碧		廿八	赤口	とる	壁	神よし	6.01 16.48	6.01 16.48	4.32 16.32	4.32 16.32
31日	木	つちのえと	二黒	世界勤儉デー	廿九	先勝	やぶる	奎	天おん	6.02 16.47	6.02 16.47	4.32 16.32	4.32 16.32

【葬】薬石の効なく、または不慮の災厄にあつたり、たとえそれが眠るような長寿の大往生……であつても、現世と冥界の別は必ず一現はあるものとは知らなければ、悲しくつらいものである。

儀式までの手配は次のようである。

◇死者を北枕にする。

◇(釈迦入滅の姿にならう)目を閉ざし、手を胸の上に組むように形をととのえる。

◇神棚や仏壇を閉ざし、忌中の半紙を戸口に貼る。

◇死亡のことを近親や寺に知らせる。

◇葬儀の打ち合わせ。

◇葬儀社への交渉。

◇湯灌、納棺の準備及び納棺。

◇死亡通知の作成。祭壇の作成。

◇お通夜。

◇告別式、一般焼香。

【祭】「スポーツの日」は、元々は「体育の日」と呼ばれていた(令和二年から名称変更)。昭和三十九年東京オリンピックを記念して制定。